

第51回 全国トラックドライバー・コンテスト

学科競技

問題用紙

(競技時間：60分間)

部門 4トン・11トン・トレーラ・女性

氏名

注意事項

- ① 解答用紙に書かれている受験番号、氏名を確認すること。
受験番号は「『部門コード』 - 『ゼッケン番号 (2桁 (例：青森県 = 02))』」となる。

部門	部門コード
4トン部門	B
11トン部門	C
トレーラ部門	T
女性部門	W

例) トレーラ部門の青森県代表の選手の場合、受験番号は「T - 02」となる。

- ② 解答はすべて別紙の解答用紙 (マークシート方式) に記入すること。
- ③ 解答用紙 (マークシート方式) は、鉛筆を使用して必要な箇所にマークすること。なお、誤ってマークした場合は、跡の残らないように消しゴムでしっかりと消すこと。
- ④ この問題用紙は、試験開始の合図があるまで開かないこと。
- ⑤ 問題用紙を一通り見て、印刷の不鮮明なところがあれば挙手をして係員に申し出ること。
- ⑥ 問題用紙に、メモ、計算等を書き込んでも差し支えない。問題用紙は選手がそのまま持ち帰ること。
- ⑦ 試験開始45分経過後より退室してよいが、解答用紙は机上に伏せて、他の選手の妨げにならないよう静かに退室すること。一度退室したら再度入室は認めない。
- ⑧ 時間については、試験終了10分前と5分前に終了の予告をする。
- ⑨ 落とした筆記用具の拾得等、試験時間中に何らかの問題が生じた場合は、挙手をして係員に申し出ること。

I 法規 (40 問)

【4 肢択一式問題】

問 1. 歩行者の保護等に関する次の記述のうち、誤っているものを 1 つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1 盲導犬を連れた人が歩行しているときは、一時停止か徐行をして、その通行を妨げないようにする。
- 2 交差点又はその直近で横断歩道のない場所において歩行者が道路を横断しているときは、その通行を妨げないようにする。
- 3 児童、幼児等の乗降のため停車している通学通園バスと行き違いの形で直進するときは、徐行しなくてもよい。
- 4 警察署長の許可を得て歩行者用道路を通行するときは、特に歩行者に注意して徐行しなければならない。

問 2. 交差点の通行に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1 交差点を左折するときは、横断歩行者や自転車がいなかったことが明らかな場合には徐行せずに通行する。
- 2 右折するときは、あらかじめできる限り道路の中央に寄り、交差点の中心の直近の内側（道路標識等により通行部分が指定されている場合を除く）を徐行せずに通行する。
- 3 右折するために、直進車や左折車よりも先に交差点に入った場合には、直進車や左折車よりも先に右折することができる。
- 4 交通整理の行なわれていない交差点において、通行している道路よりも交差道路の道幅のほうが明らかに広いときは、徐行するとともに、交差道路を通行する車両等の進行妨害をしてはならない。

問3. 信号に関する次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 赤色の点滅信号の場合は、車両は停止位置で一時停止しなければならないが、歩行者は他の交通に注意して進行することができる。
- イ 青色の右折矢印信号の場合は、右折はできるが転回ができない。
- ウ 対面する信号が青の場合は、軽車両を含めて全ての車両は直進、左折、右折ができる。
- エ 対面する信号が黄色の場合は、停止位置に近接しているため安全に停止できない場合を除いて、停止位置で停止しなければならない。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問4. 次のア～エの記述のうち、駐車も停車もいずれも禁止されている場所はいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 交差点の側端又は道路のまがりかどから5メートル以内の部分。
- イ 火災報知機から1メートル以内の部分。
- ウ 道路工事が行なわれている場合の当該工事区域の側端から5メートル以内の部分。
- エ 踏切の前後の側端からそれぞれ前後に10メートル以内の部分。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

【○×正誤式問題】

次の問5から問40までの設問について、正しいと思うものについては解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては解答用紙の×の欄に、マークを付けなさい。

- 問5. 車両は、道路外に出るため左折するときは、あらかじめその前からできる限り道路の左側端に寄り、かつ、徐行しなければならない。
- 問6. 白の実線と白の破線の2本線で示された路側帯の場合は、その中に入って駐停車することはできない。
- 問7. 踏切の警報機が鳴り始めたら、遮断機が降り始める前であっても踏切に進入してはならない。
- 問8. 横断歩道を横断しようとする歩行者があるときは、横断歩道等の直前で停止することができるような速度で進行しなければならない。
- 問9. 横断歩道及びその手前の側端から前に50メートル以内の場所は追越しが禁止されている。
- 問10. 道路交通法でいう「重被牽引車」とは、牽引されるための構造及び装置を有し、かつ、車両総重量が750キログラムを超えるものをいう。
- 問11. 環状交差点に入ろうとするときは、徐行しなければならない。
- 問12. バス停で路線バスが発進の合図を出したときは、後方の車は急ブレーキ等で回避しなければならない場合を除いて、バスの発進を妨げてはならない。
- 問13. 車両は、歩行者又は他の車両等の正常な交通を妨害するおそれがあるときは、道路外の施設に出入するための左折や右折、横断、転回、後退をしてはならない。
- 問14. 道路交通法でいう「自動車」には、原動機付自転車も含まれる。
- 問15. 高速自動車国道等で自動車を運転しようとするときは、あらかじめ、燃料、冷却水若しくは原動機のオイルの量又は貨物の積載の状態を点検しなければならない。

- 問 16. 駐車場等の道路外施設に入るために歩道を横断するときは、歩道に入る直前で一時停止し、かつ、歩行者の通行を妨げないようにする。
- 問 17. 夜間に他の車両等の直後を進行するとき、他の車両等の交通を妨げるおそれがあるときは、灯火の光度を減ずる等の操作をする。
- 問 18. 道路交通法においては、車両総重量 8 トン、最大積載量 5 トンの自動車は大型自動車に該当する。
- 問 19. 「警笛区間」の標識のある区間内を通行するときには、危険と感じた場所で警笛を鳴らさなければならない。
- 問 20. 道路混雑等により、交差点に入った場合に交差点内で停止することとなるおそれがあるときは、徐行して交差点に進入しなければならない。
- 問 21. 進行中の車両等から道路に物件を投げるのは迷惑行為ではあるが、違法行為ではない。
- 問 22. 同一方向に 3 つ以上の車両通行帯があるときは、追越しをしない場合であっても、一番速度の速い車が最も右側の車両通行帯を走行する。
- 問 23. 車両（緊急自動車を除く。）は、交差点とその附近で緊急自動車が接近してきたときは、交差点内の左側に寄って一時停止し、緊急自動車の通行を妨げないようにする。
- 問 24. 自動車の車体の前後から自動車の荷台の長さの 10 分の 1 の長さ（大型自動二輪車及び普通自動二輪車を除く）を超えてはみ出してはならない。
- 問 25. 最大積載量 3 トン以上の貨物自動車は、この標識のある道路は通行できない。



問 26. 免許停止の処分を受けているときに運転をすると、無免許運転になる。

問 27. 大型免許の運転免許試験を受けようとする者（政令で定める者を除く。）は、中型免許、準中型免許、普通免許又は大型特殊免許を現に受けていて、かつ、いずれかの免許を受けていた期間（当該免許停止期間を除く。）が通算して1年以上の者でなければならない。

問 28. 許可を得て積載制限を超える貨物を積載する場合は、許可証を携行しなければならない。

問 29. この標識は、学校や幼稚園があることを示している。



問 30. 車両は、進路を変更した場合にその変更した後の進路と同一の進路を後方から進行してくる車両等の速度又は方向を急に変更させることとなるおそれがあるときは、進路を変更してはならない。

問 31. 車両等の運転者は、ハンドル、ブレーキその他の装置を確実に操作し、かつ、道路、交通及び当該車両等の状況に応じ、他人に危害を及ぼさないような速度と方法で運転しなければならない。

問 32. 交差点に入るときや交差点内を通行するときは、できる限り安全な速度と方法で進行する。

問 33. 道路交通法でいう「交通事故」とは、車両等による人身事故をいい、物の損壊などの物損事故は含まない。

問 34. 進路変更をするときは、その行為をしようとするときの3秒前のときに合図する。

問 35. 同一方向に進行しながら進路を変えるときなど合図に係る行為をしないのにもかかわらず、合図を出した場合は違反行為となる。

問 36. 路線バス等の優先通行帯においては、道路混雑などにより、後方から路線バス等が近づいてきたときに優先通行帯から出られなくなるおそれがあるときは、路線バス等を除く自動車は右左折などのやむを得ない場合を除いて通行してはならない。

問 37. 道路標識等により速度が指定されていない自動車専用道路の本線車道における、大型貨物自動車の最高速度は時速 80 キロメートル毎時である。

問 38. 呼気 1 リットルにつき 0.15 ミリグラム以上の酒気帯び運転は処罰の対象となるが、それに達しない場合であっても、酒気を帯びて運転してはならない。

問 39. 車両（トロリーバスを除く）は、左折や右折をする場合でも、軌道敷内を通行することはできない。

問 40. この標識は、転回禁止であることを示している。



Ⅱ 構造機能 (20 問)

【4 肢択一式問題】

問 41. 事業用貨物自動車の日常点検の内容に関する次のア～エの記述のうち、走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に行うことで足りるものはいくつあるか。 解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア タイヤの空気圧が適当であること。
- イ ウインド・ウォッシャの液量が適当であり、かつ、噴射状態が不良でないこと。
- ウ 駐車ブレーキ・レバーの引きしろが適当であること。
- エ 低速及び加速の状態が適当であること。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問 42. 次の文章は、道路運送車両法第 1 条（この法律の目的）の全文であるが、(A) (B) に入る語句の組み合わせとして正しいものを 1 つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

この法律は、道路運送車両に関し、所有権についての公証等を行い、並びに (A) 及び公害の防止その他の環境の保全並びに整備についての技術の向上を図り、併せて自動車の整備事業の健全な発達に資することにより、(B) を増進することを目的とする。

- | | A | B |
|---|--------|--------|
| 1 | 安全性の確保 | 事業者の利益 |
| 2 | 安全性の確保 | 公共の福祉 |
| 3 | 利便性の確保 | 公共の福祉 |
| 4 | 利便性の確保 | 事業者の利益 |

問 43. 灯火類の灯光の色に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1 後退灯の灯光の色は、白色であること。
- 2 非常点滅表示灯の灯光の色は、赤色であること。
- 3 尾灯の灯光の色は、赤色であること。
- 4 番号灯の灯光の色は、白色であること。

問 44. 制動灯に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1 自動車(最高速度20キロメートル毎時未満の軽自動車及び小型特殊自動車を除く。)の後面の両側には、制動灯を備えなければならない。ただし、二輪自動車等の一部の自動車には、制動灯を後面に1個備えればよい。
- 2 制動灯は、灯器が損傷し、又はレンズ面が著しく汚損しているものでないこと。
- 3 制動灯の灯光の色は、赤色であること。
- 4 制動灯は、昼間にその後方200メートルの距離から点灯を確認できるものであり、かつ、その照射光線は、他の交通を妨げないものであること。

【○×正誤式問題】

次の問 45 から問 60 までの設問について、正しいと思うものについては解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては解答用紙の×の欄に、マークを付けなさい。

- 問 45. 自動車運送事業の用に供する自動車の使用者又はこれらの自動車を運行する者は、1 日 1 回、運行の開始前において、国土交通省令で定める技術上の基準により自動車を点検しなければならない。
- 問 46. 自動車運送事業の用に供する自動車は、6 か月ごとに国土交通省令で定める技術上の基準により自動車を点検しなければならない。
- 問 47. 自動車（二輪自動車、側車付二輪自動車及び被牽引自動車を除く。）の前面ガラスは、運転者が交通状況を確認するために必要な視野の範囲に係る部分における可視光線の透過率が 75 パーセント以上のものであること。
- 問 48. 道路運送車両法における「道路運送車両」とは、自動車をいい、原動機付自転車及び軽車両は含まれない。
- 問 49. 停止表示器材は、夜間 200 メートルの距離から走行用前照灯で照射した場合にその反射光を照射位置から確認できるものであること。
- 問 50. 道路運送車両の保安基準でいう「軸重」とは、自動車の車両中心線に垂直な 1 メートルの間隔を有する 2 平行鉛直面間に中心のあるすべての車輪の輪荷重の総和をいう。
- 問 51. 道路運送車両法で規定する「自動車の種別」には、「大型自動車」という区分はない。
- 問 52. 自動車の長さ、幅、高さの測定については、積車状態において告示で定める方法により測定しなければならない。
- 問 53. 方向指示器は、方向の指示を表示する方向 200 メートル（法令で定める一部の方向指示器を除く）の位置から、昼間において点灯を確認できるものであり、かつ、その照射光線は、他の交通を妨げないものであること。

- 問 54. 車幅灯は、夜間にその前方 300メートルの距離から点灯を確認できるものであり、かつ、その照射光線は、他の交通を妨げないものであること。
- 問 55. 自動車の使用者は、自動車の点検をし、及び必要に応じ整備をすることにより、当該自動車を保安基準に適合するように維持しなければならない。
- 問 56. タイヤ・チェーン等は走行装置に確実に取り付けることができ、かつ、安全な運行を確保することができるものでなければならない。
- 問 57. 警音器は、音の大きさ又は音色が自動的に変化するものであること。
- 問 58. 大型後部反射器は、昼間においてその後方 150メートルの位置からその赤色部を確認できるものであること。
- 問 59. 自動車（被牽引自動車を除く。）は、騒音を著しく発しないものとして、構造、騒音の大きさ等に関し告示で定める基準に適合するものでなければならない。
- 問 60. 走行用前照灯は、その全てを同時に照射したときに、夜間にその前方 80メートルの距離にある交通上の障害物を確認できる性能を有すること。

Ⅲ 運転常識 (20 問)

【4 肢択一式問題】

問 61. 踏切の通行に関する次のア～エの記述のうち、誤っているものはいくつあるか。
解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 踏切内では、変速しないで、発進したときの低速ギアのまま一気に通過する。
- イ 踏切内では、対向車との接触を防ぐために、できるだけ左寄りを通行する。
- ウ 踏切を通過しようとするときは、その直前（停止線があるときは、その直前）で一時停止をし、窓を開けるなどして自分の目と耳で左右の安全を確かめる。
- エ 前の車に続いて通過するときは、一時停止はしなくてもよいが、安全確認は行わなければならない。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問 62. 緊急時の措置に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1 走行中にタイヤがパンクしたときは、ハンドルをしっかりと握り、急ブレーキを避け、断続的にブレーキを踏んで停止する。
- 2 ぬかるみなどで車輪が空回りするときは、古毛布、砂利などがあれば、それを滑り止めに使うと効果的である。
- 3 後輪が横滑りを始めたときは、ブレーキはかけず、まずアクセルを緩め、同時にハンドルで車の向きを立て直す。
- 4 後輪が右に滑ったときは、ハンドルを左に切って車の向きを立て直す。

問 63. 貨物自動車運転者の拘束時間に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1 1日（始業時刻から起算して24時間）の拘束時間は13時間以内を基本とし、延長する場合でも16時間が限度である。
- 2 1日の拘束時間を原則13時間から延長する場合であっても、15時間を超える回数は1週間につき2回が限度である。
- 3 1か月の拘束時間の限度は、原則として293時間である。
- 4 乗務の途中でフェリーに乗船する場合は、乗船時間のうち2時間までを拘束時間とし、それを超える乗船時間は原則として休息期間として取り扱う。

問 64. 自動車に働く自然の力に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1 カーブを回ろうとするときには、自動車の重心に遠心力が働き、自動車はカーブの外側に滑り出そうとする。
- 2 遠心力の大きさは、カーブの半径が小さいほど小さくなる。
- 3 速度が2倍になれば、車が衝突したときの衝撃力も2倍になる。
- 4 タイヤと路面の間の摩擦抵抗が小さくなると制動距離も短くなる。

【○×正誤式問題】

次の問 65 から問 80 までの設問について、正しいと思うものについては解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては解答用紙の×の欄に、マークを付けなさい。

- 問 65. 大型自動車、中型自動車及び準中型自動車は、普通自動車に比べ、運転席の位置が高く、見下ろす形になり、車間距離が実際より短く感じやすい。
- 問 66. 交通状況に応じて速度変化の少ない運転を心がけることで燃費が改善する。
- 問 67. 片側が転落のおそれのあるがけになっている道路で、安全な行き違いができないときは、がけと反対側の車が一時停止をして道をゆずる。
- 問 68. 連続運転時間（1 回が連続 10 分以上で、かつ、合計が 30 分以上の運転の中断をすることなく連続して運転する時間をいう。）は、4 時間を超えないものとする。
- 問 69. 車に乗る前には、車の前後に人がいないか、車の下に子供がいないかを確認する。
- 問 70. 1 日の運転時間は 2 日（始業時刻から起算して 48 時間をいう。）を平均して 1 日当たり 9 時間、2 週間を平均して 1 週間当たり 45 時間が限度である。
- 問 71. 高速のままハンドルを切ったり、ハンドルを切りながらブレーキをかけたりすると、横転や横すべりを起こしやすくなる。
- 問 72. 乗務員は、酒気を帯びて乗務してはならない。
- 問 73. 事業者は深夜業を含む業務に常時従事する労働者に対しては、当該業務への配置替えの際及び 6 月以内ごとに 1 回、健康診断を実施することが義務づけられている。
- 問 74. 車を運転中に大地震が発生し、やむを得ず道路上に置いて避難するときは、エンジンキーは付けたままとするか運転席などの車内の分かりやすい場所に置き、窓は閉じ、ドアはロックする。
- 問 75. 坂道で車から離れるときは、輪止めをする。

- 問 76. 車両総重量が8トン以上又は最大積載量が5トン以上の事業用自動車に乗務した場合は、乗務記録に貨物の積載状況を記録しなければならない。
- 問 77. 高速運転に慣れた後で一般道路へ出たときは、速度を出し過ぎになりがちである。
- 問 78. 運転者が疲れているときは、空走距離は短くなる。
- 問 79. 貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の休息期間については、当該自動車運転者の住所地における休息期間がそれ以外の場所における休息期間より長くなるように努めるものとする。
- 問 80. 車庫と営業所が離れていて対面点呼を受けられないときは、電話その他の方法で点呼を受けることができる。

第51回 全国トラックドライバー・コンテスト 学科競技解答

(公社)全日本トラック協会

I. 法規

問	選択肢			
	1	2	3	4
1			3	
2				4
3		2		
4		2		

問	○	×
5	○	
6	○	
7	○	
8		×
9		×
10	○	
11	○	
12	○	
13	○	
14		×
15	○	
16	○	
17	○	
18		×
19		×
20		×

問	○	×
21		×
22		×
23		×
24		×
25	○	
26	○	
27		×
28	○	
29		×
30	○	
31	○	
32	○	
33		×
34	○	
35	○	
36	○	

問	○	×
37		×
38	○	
39		×
40		×

II. 構造機能

問	選択肢			
	1	2	3	4
41		2		
42		2		
43		2		
44				4

問	○	×
45	○	
46		×
47		×
48		×
49	○	
50	○	
51	○	
52		×
53		×
54	○	
55	○	
56	○	
57		×
58	○	
59	○	
60		×

III. 運転常識

問	選択肢			
	1	2	3	4
61		2		
62				4
63				4
64	1			

問	○	×
65		×
66	○	
67		×
68	○	
69	○	
70		×
71	○	
72	○	
73	○	
74		×
75	○	
76	○	
77	○	
78		×
79	○	
80		×